

## 令和2年度 さいたま市立川通小学校 学校関係者評価書

さいたま市立川通小学校

学校関係者評価委員長 三次 宣夫 印

### 1 学校関係者評価の実施体制

#### (1) 構成人数 6名

地域代表(自治会連合会長)1名、中学校長1名、防犯ボランティア会議代表1名、民生委員代表1名、元PTA会長1名 現PTA会長1名

#### (2) 実施回数 3回

### 2 学校関係者評価(学校関係者評価委員の意見等)

#### (1) 学校運営について(教育目標・指導体制・経営組織・研修・開かれた学校づくり)

- ・保護者・教職員ともに評価は全体的に高い。しかしながら、児童評価の全てがそうでない点については、コロナ禍の現況における充実度に影響されているとの分析が報告された。
- ・教職員の研修に関する評価の伸びは、来年度のGIGAスクール構想において児童がタブレットPCを用いた学びについて、重点として研修を進めてきたことが理由と考えられるとのことであった。
- ・「開かれた学校づくり」について、保護者評価は高いが教職員が低い点については、地域との交流的な活動、校外での体験的な活動が行いにくかったことが反映されていると思われる。

#### (2) 教科指導等について(学力の向上等)

- ・全国学力・学習状況調査、市学習状況調査が中止されたことで一概に比較はできないが、学校の取組として過年度の調査を基にした結果が報告された。結果は、市の平均には及ばないが、校内比は昨年度より向上しているとの内容であった。さらに、学習項目についての評価では、保護者・児童共に昨年度よりも向上が見られ、次年度も引き続き重点として継続した取組への要望があった。
- ・読書に重点を置いている点について、図書館だよりの発行や利用意欲を高める取組、また家庭における読書時間の増加を目指した取組についての報告があり、読書の重要性については再度話し合われた。
- ・児童と教員との信頼感が高いが、子どもたちの「元気度」に対する結果が低下している点について、コロナ禍の教育活動の制約や社会的な情勢も影響している点は、やむを得ないとの話もあった。

#### (3) その他

- ・現段階において、長欠(15日以上)1名・いじめ0件の報告があった。いじめについては、早期発見に努め、問題となる前段階で指導しているとのことであった。
- ・保護者評価の個人意見では、少数だが運営に批判的な意見も寄せられていることに関して、個々に丁寧に対応していくことで、その家庭に理解いただけるように取り組むことを確認した。
- ・給食の内容改善が図られているとの報告があった。現在、学校栄養士が病休であることの報告があり、引き続きアレルギー等の安全対応に重点を置き、地産等の食育を進めていくことを確認した。
- ・通学路については危険な箇所もあるが、その箇所を通る児童の方が安全意識も高く、しっかりと1列で登校がなされていること、また、見守りボランティアさんに挨拶も良く行えている点に触れ、引き続き地域と協力して見守りを続けていくことの重要性が話し合われた。

### 学校関係者評価を受けた学校の対応

#### ○改善に向けた今後の取り組み

- ・コロナ禍が継続することを踏まえて、健康安全面重視の運営と共に、生涯的な学びの基礎となる基本的な学び(基礎学力、読書力(習慣))の向上に向け、次年度も教育活動を進めていきたい。
- ・コロナ対応には先が見通せないところもあるが、十分な感染対策を図り最大限の教育活動を提供していきたい。とくに、児童評価にも見られた「心の教育」・「元気度」の落ち込みを解消すべく、道徳教育や特別活動、また農業体験などの体験的な活動を通して向上を図りたいと考える。

さいたま市立川通小学校長

染谷 隆

印